

# 魚 病 対 策 事 業

勢 村 均

主として石見地域の養殖ヒラメに発生した疾病について、原因の究明と、対策の指導を行なった。詳細は以下の表に示すとおりである。

ヒラメは6～7月に寄生虫病，8月以降は細菌性疾病によるへい死が多かった。なお，江津のエドワジエラ症は広島産の種苗が羅病したまま搬入され，養殖場に拡まったものと推定された。

表1 養殖魚巡回健康診断結果

検査年月日	実施区域	魚 種	内 容
1990年			
6月6日	浜田・江津	ヒラメ	トリコディナ・イクチオボド症
12日	浜田	〃	スクーチカ症
15日	浜田	〃	イクチオボド症
29日	浜田	〃	スクーチカ症
7月4日	浜田	〃	不明
16日	加賀	〃	トリコディナ症
21日	宅野	〃	不明（物理障害？）
8月7日	浜田	〃	連鎖球菌症
9日	加賀	〃	不明
9日	美保関	ブリ	リンホシスチス病
13日	加賀	ヒラメ	連鎖球菌症
17日	江津	〃	〃
23日	浜田・加賀	〃	〃
29日	江津	〃	〃
9月6日	江津	〃	連鎖球菌・エドワジエラ症
11日	江津	〃	連鎖球菌症
28日	大芦	マダイ	白点病様疾病
10月1日	大芦	〃	〃
3日	西郷	アワビ	ハリストロフ症
12日	都万	〃	不明
23日	布施	トラフグ	白点病様疾病
11月6日	大芦	ブリ	連鎖球菌症
17日	宅野	ヒラメ	ガス病
21日	江津	〃	エドワジエラ症